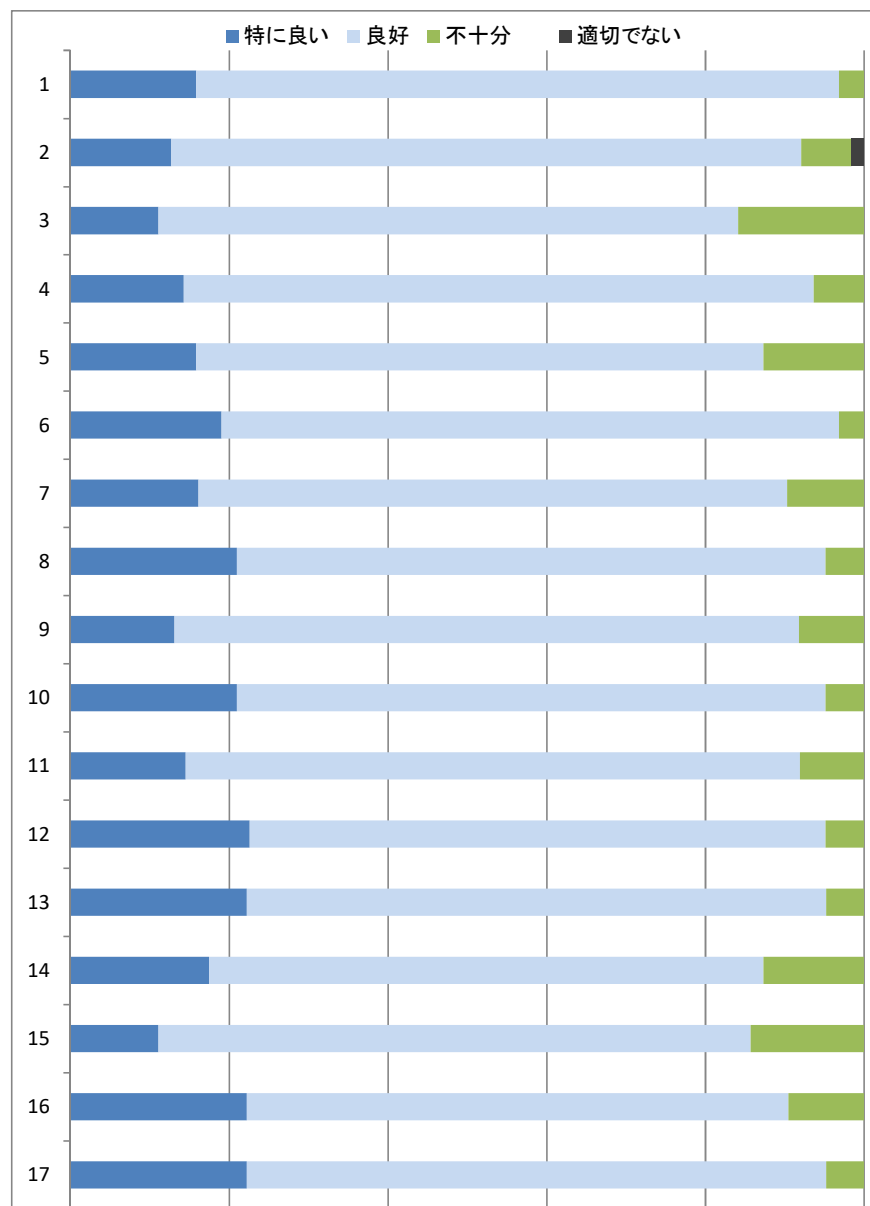


# 令和3年度 学校評価アンケート(教職員 自己評価) 回収率 100%

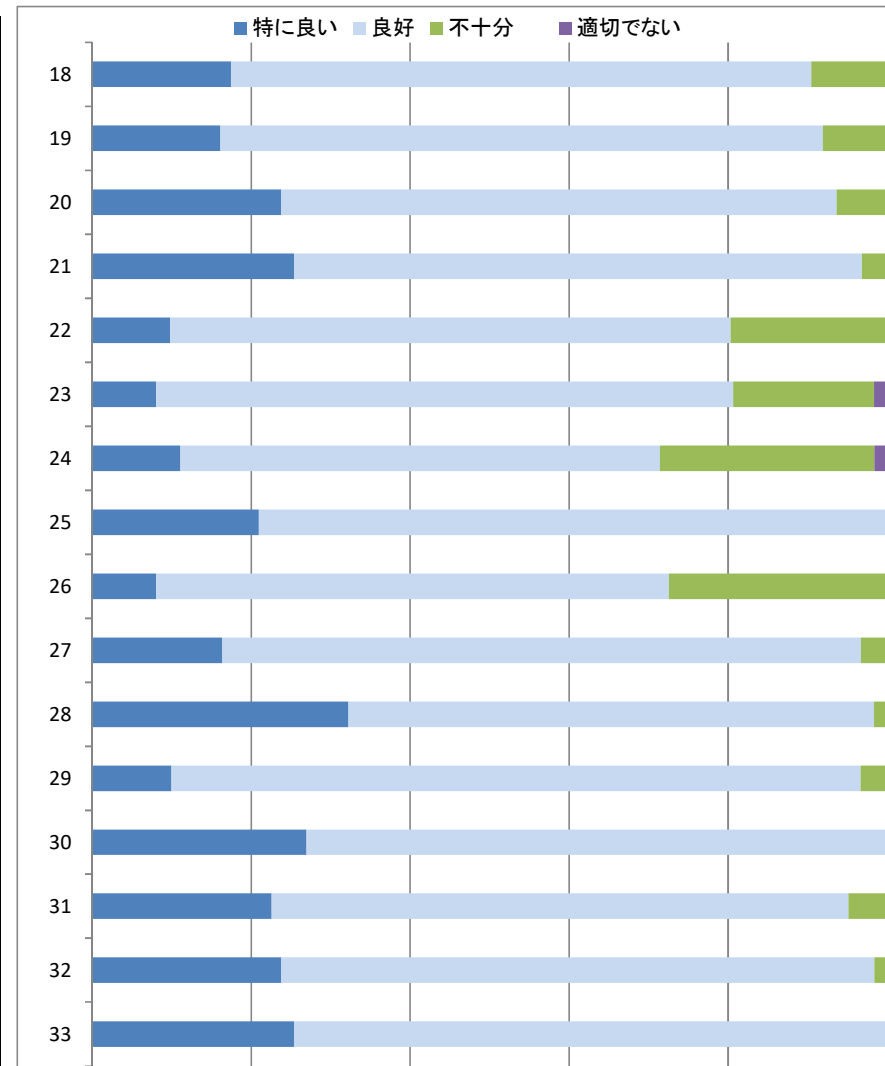
A: 特に良い B: 良好 C: 不十分 D: 適切でない ※無回答あり

|    | 項 目                                                                                | A         | B         | C         | D       |
|----|------------------------------------------------------------------------------------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 1  | 学校の教育目標である「豊かな心とつよい体をつくり 生涯にわたって自立し たくましく生きる生徒を育てる」を具現化するために、全教職員が日常の教育活動に取り組んでいる。 | 9<br>15%  | 49<br>80% | 3<br>5%   | 0<br>0% |
| 2  | 学校経営上、生徒・保護者・地域等の実態やニーズを踏まえた適切な方向性が示され、学校課題の改善・解決がなされている。                          | 10<br>16% | 49<br>80% | 2<br>3%   | 0<br>0% |
| 3  | 組織体として協働・協力体制が確立され、分掌・学年・学科・舎務等が適切に機能し、各部門間の連携が図られている。                             | 6<br>10%  | 35<br>58% | 17<br>28% | 2<br>3% |
| 4  | 生徒一人ひとりの確かな学びを導く学習指導・生徒指導・生活指導の充実に努める。                                             | 7<br>12%  | 47<br>78% | 6<br>10%  | 0<br>0% |
| 5  | 働き方改革を踏まえた校務運営の改善充実に努める。                                                           | 7<br>12%  | 42<br>70% | 10<br>17% | 1<br>2% |
| 6  | 学習指導要領、教育課程編成基準を理解し、生徒の実態や障がいの特性等を踏まえ、社会や就労状況の変化に即した教育課程の編成・実施に努めている。              | 7<br>12%  | 49<br>83% | 4<br>7%   | 0<br>0% |
| 7  | キャリア教育をベースとして、作業学習・生活単元学習・教科学習・学校行事等、教育内容全般について随時検討し、その充実に努めている。                   | 10<br>17% | 44<br>75% | 5<br>8%   | 0<br>0% |
| 8  | 個別の指導計画に基づき、個に応じた観点で学習活動を展開している。                                                   | 8<br>14%  | 48<br>81% | 3<br>5%   | 0<br>0% |
| 9  | 授業を中心とした教育活動全般において、必要に応じた工夫や改善を行い、その充実に努めている。                                      | 11<br>19% | 45<br>76% | 3<br>5%   | 0<br>0% |
| 10 | 生徒の学力や生活力向上のために、個に応じた適切な評価を行うことができる。                                               | 8<br>14%  | 47<br>81% | 3<br>5%   | 0<br>0% |
| 11 | 特別支援教育に必要な専門的な技術や知識を身に付ける姿勢を持ち、教育活動に活かしている。                                        | 10<br>17% | 42<br>72% | 6<br>10%  | 0<br>0% |
| 12 | 挨拶、身だしなみ、言葉遣い等、社会人・職業人として生徒の模範となるよう自ら努めている。                                        | 6<br>10%  | 49<br>80% | 5<br>8%   | 1<br>2% |
| 13 | 生徒の発達段階や個別の課題に応じた生徒指導(ルール・道徳・モラル・性・礼儀など)を適切に行っている。                                 | 10<br>17% | 44<br>75% | 5<br>8%   | 0<br>0% |
| 14 | 教職員の共通理解・協力体制のもとで指導が行われており、チーム・組織的対応が実践され機能している。                                   | 5<br>9%   | 44<br>76% | 9<br>16%  | 0<br>0% |
| 15 | 生徒に対して、自他の命や体を大切にする態度や知識を身に付けさせるとともに、心の教育の充実に努めている。                                | 11<br>19% | 46<br>79% | 1<br>2%   | 0<br>0% |
| 16 | 生徒や保護者のニーズを踏まえ、生徒の進路実現を図るべくキャリア教育の観点から進路指導の充実に努めている。                               | 10<br>17% | 43<br>74% | 5<br>9%   | 0<br>0% |
| 17 | 進路指導部・学年・担任・寄宿舎等の連携のもと、個々の生徒の実態に応じた適切な進路指導が行われている。                                 | 11<br>18% | 43<br>72% | 6<br>10%  | 0<br>0% |



A: 特に良い B: 良好 C: 不十分 D: 適切でない ※無回答あり

|    | 項 目                                                            | A         | B         | C         | D       |
|----|----------------------------------------------------------------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 18 | 「現場実習」等、外部関係機関との連携のもと充実した進路指導を行い、その成果が生徒の活動に現れている。             | 13<br>22% | 45<br>75% | 2<br>3%   | 0<br>0% |
| 19 | 学校・寄宿舎における事故防止について、日常的に未然防止の観点から、生徒への安全指導を行っている。               | 10<br>17% | 48<br>80% | 2<br>3%   | 0<br>0% |
| 20 | 避難・防災訓練について、実施内容・時期・回数等は適切であり、効果的なものとなっている。                    | 15<br>25% | 46<br>75% | 0<br>0%   | 0<br>0% |
| 21 | 日々の寄宿舎生活を通じ、自立や基本的生活習慣確立のための指導を適切に行っている。                       | 4<br>7%   | 46<br>81% | 5<br>9%   | 2<br>4% |
| 22 | 保護者および学校側との連携を重視し、学舎一体となった生徒指導に取り組んでいる。                        | 6<br>11%  | 43<br>77% | 7<br>13%  | 0<br>0% |
| 23 | コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用する学習活動の充実に努めている。           | 8<br>14%  | 39<br>66% | 12<br>20% | 0<br>0% |
| 24 | 各教室等の整理整頓に努め、生徒が学習しやすい雰囲気づくりに日常的に取り組んでいる。                      | 14<br>24% | 43<br>74% | 1<br>2%   | 0<br>0% |
| 25 | 本校は、特別支援学校として適切な施設・設備が整っている。                                   | 7<br>12%  | 46<br>77% | 7<br>12%  | 0<br>0% |
| 26 | 各部門に関する予算計画・執行は適切に行われている。                                      | 12<br>20% | 49<br>80% | 0<br>0%   | 0<br>0% |
| 27 | 支援部を中心として、地域における特別支援教育のセンター的役割(幼・小・中・高などへの支援)を果たしている。          | 21<br>35% | 37<br>62% | 2<br>3%   | 0<br>0% |
| 28 | PTA役員を中心に、生徒・保護者・教職員が連携して、PTA活動に取り組んでいる。                       | 11<br>18% | 45<br>74% | 5<br>8%   | 0<br>0% |
| 29 | 各種便りやホームページ、各種連絡協議会等を通じて、本校の教育活動について保護者や地域住民、関係機関への情報発信を行っている。 | 17<br>28% | 44<br>72% | 0<br>0%   | 0<br>0% |
| 30 | 外部との交流事業や交流活動、地域資源を活用した実習等が適切に企画・実施され、成果をあげている。                | 19<br>31% | 41<br>67% | 1<br>2%   | 0<br>0% |
| 31 | 保護者や地域、外部関係機関の方々に対して、学校教職員として、礼儀・言動・身だしなみ等、適切な対応を行うことができる。     | 11<br>18% | 48<br>79% | 2<br>3%   | 0<br>0% |
| 32 | 不祥事防止について、適切な指導や注意喚起が行われ、常に意識しながら業務にあたることができた。                 | 23<br>38% | 37<br>61% | 1<br>2%   | 0<br>0% |



#### 【評価の高かった項目】

20避難・防災訓練について、実施内容・時期・回数等は適切であり、効果的なものとなっている。 **A:25%**  
 27支援部を中心として、地域における特別支援教育のセンター的役割(幼・小・中・高などへの支援)を果たしている。 **A:35%**  
 30外部との交流事業や交流活動、地域資源を活用した実習等が適切に企画・実施され、成果をあげている。 **A:31%**  
 32「不祥事防止について、適切な指導や注意喚起が行われ、常に意識しながら業務にあたることができた。」 **A:38%**

#### 【評価の低かった項目】

3組織体として協働・協力体制が確立され、分掌・学年・学科・舍務等が適切に機能し、各部門間の連携が図られている。 **C:28% D:3%**  
 23コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用する学習活動の充実に努めている。 **C:20%**

---

※参考(令和2年度)

【評価の高かった項目】

28「支援部を中心として、地域における特別支援教育のセンター的役割(幼・小・中・高などへの支援)を果たしている。」 A:32%

30「各種便りやホームページ、各種連絡協議会等を通じて、本校の教育活動について保護者や地域住民、関係機関への情報発信を行っている。」 A:27%

21「避難・防災訓練について、実施内容・時期・回数等は適切であり、効果的なものとなっている。」 A:25%

33「不祥事防止について、適切な指導や注意喚起が行われ、常に意識しながら業務にあたることができた。」 A:25%

【評価の低かった項目】

24「コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、適切に活用する学習活動の充実に努めている。」 C:27% D:2%

26「本校は、特別支援学校として適切な施設・設備が整っている。」 C:27%

22「日々の寄宿舎生活を通じ、自立や基本的生活習慣確立のための指導を適切に行っている。」 C:20%

23「保護者および学校側との連携を重視し、学舎一体となった生徒指導に取り組んでいる。」 C:18% D:2%